

教育方法21 自己学習能力の育成と授業の創造

- | | | | |
|-----|---|----|-----|
| I | 生涯学習社会に求められる子どもの能力 | | |
| 一 | 自己学習能力と情報活用能力の構造化・統合化をめぐる一試論 | 菅井 | 勝雄 |
| 二 | 公共性・共同性に関する認識と能力の形成
—生活の共同化の立場から— | 遠藤 | 芳信 |
| 三 | 「ブルーナーの仮説」再考 —『教育の過程』の新しい読みなおし方— | 平光 | 昭久 |
| II | 授業の創造と授業研究の課題 | | |
| 一 | 自己学習力を育てる授業の創造 —授業研究の今日的課題— | 山下 | 政俊 |
| 二 | 授業の創造と授業研究の課題
—求められる授業のオープンエンド化(Open-ended)の方法論— | 片上 | 宗二 |
| 三 | 授業成立のメカニズムと「関心・意欲・態度」 | 庄司 | 他人男 |
| III | 指導要録の改訂と教育評価の課題 | | |
| 一 | 「観点」の循環的機能と新しい授業づくり | 谷川 | 彰英 |
| 二 | 新しい評価観に求められる教師の力量 | 井上 | 正明 |
| 三 | 改訂要録による潜在的カリキュラムのコントロール | 長尾 | 彰夫 |
| IV | 子どもの権利条約と教育実践の課題 | | |
| 一 | 子どもの権利条約と教育実践の課題 | 佐藤 | 博之 |
| 二 | 子どもの権利条約と授業観の転換 | 二杉 | 孝司 |